

序 説

普段の読影中、わからない所見に遭遇すると、教科書や文献でなんとか解決をしようとするが、示されているキー画像では全体像がなかなかつかめないことがある。また、教科書や雑誌の原稿作成を担当させていただく機会があるが、この立場でいうと、誌面の制約上、掲載できる画像に限りがあるため、対象とする疾患の重要なポイントを限られたキー画像で伝えることには限界があると感じている。

そこで、本誌2月号に引き続き、3月号では、中枢神経領域の画像をQRコードを用いて提示し、エキスパートの先生方が普段どのようなことに気を付けて画像診断をされているかご解説していただく特集を企画させていただいた。特に初学者に理解を深めていただくことを目的とし、ご執筆くださった先生方には、各項目の代表的な疾患を選んでいただいたが、いずれも重要なポイントが満載である。

キー画像で伝わらないエキスパートの読影のポイントを共有し、単にキー画像を記憶するだけでなく、日常の読影で実際に遭遇した場面を想像しながら各疾患の全体像を把握し、よりいっそう理解を深めていただければ幸いである。

お忙しいなか、ご執筆を引き受けてくださった先生方にこの場をお借りし深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。また、メジカルビュー社の関係者の皆様には原稿の編集のみならず連続画像のご準備までご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

東 美菜子